

『ふるむ・マラウイ』～フルーツ～

1st /January/2013 第33号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

雨期の始まり(11月末から12月)になると、いろいろなフルーツがマーケットの店先に並びます。デッサは標高が高いせいか、モモ、スモモの仲間、リンゴやナシなどバラエティーに富んでいます。リンゴは南アフリカから入ってくるものが圧倒的に多く、ローカルのリンゴが食べられるのはこの時期だけです。



路上で売られているマンゴー



スモモ(一皿 Mk150; 日本円で45円)



デッサで栽培されているリンゴ



同じくデッサで栽培されたナシ



南アフリカ産

特にマンゴーはすごく安く、バケツ1杯でMK400(日本円で120円!)です。モモは自宅に桃の木があり、10月~11月初めにたくさんとれました。



自宅のモモ

味はというと香りはとても良いですが、甘みが少なく、素朴な味がします。摘果がされていないせいか実が小さいと思います。日本の果物は、すごく大切に育てられ、味や形が均一でとてもおいしかったなと思い起こされます。改めて日本の果樹農業の技術の高さを実感します。